

基礎研究で世界を変える。

supported by infomart

人文・社会科学編

最大賞金総額

500万円

募集期間

5月7日(木) 6月16日(火)

DeepTech編

最大賞金総額

1,000万円

募集期間

9月15日(火) 11月5日(木)

エントリー

●受付中

エントリー

準備中

あなたのVisionが、未来をつくる

研究の自動化・自律化が進むいま、研究者の本質的な価値は「研究Visionを打ち立てること」にあると私たちは考えます。

なぜその研究に挑むのか、どんな未来を実現したいのか。

人間の意思から生まれるそのVisionが人々の共感を呼び、研究を加速させていきます。

academist Prize 第6期では、人文・社会科学編とDeepTech編の2つのTrackで研究者を募集します。

ともに、基礎研究から未来をつくりましょう。

プログラム詳細



人文・社会科学編

DeepTech編

AIが人間の知的作業を代替するほど、「人間とは何か」「社会にとって何が大切なのか」という問いが切実になります。人文・社会科学は、こうした問いを扱える学問領域です。本プログラムは、人文・社会科学の研究を社会に開くための半年間です。研究Visionの言語化から始まり、クラウドファンディングを通じた仲間集めや資金獲得に挑戦。異分野・異業種の人々との対話を重ねながら、人文知が社会を動かす道筋を描きます。

#### 応募受付期間

2026年5月7日（木）～6月16日（火）23時59分

#### 応募条件

1. 研究のVisionとVision達成までの道筋が描けていること
2. 人文・社会科学分野の専門性を有し、自身の研究知を社会に広げることに関心があり、関連テーマの研究を進めていること
3. 大学・研究機関に所属する博士号取得者からの推薦が2件あること
4. クラウドファンディングにチャレンジし、関連イベントに参加できること
5. 応募時点で下のいずれかに該当すること
  - ・45歳以下
  - ・博士号取得後5年以内
  - ・大学院（修士課程または博士課程）所属

#### 対象分野

人文・社会科学分野

#### 募集人数

10名（チームでの応募も可能です。）

#### 特典

1. 研究活動資金（総額500万円）の授与権
2. 研究Vision実現に向けたメンタリング・ネットワーキング支援
3. academist Prize 特別イベント参加権（全3回）

DeepTechは、実用化されれば産業構造を一変させる可能性があります。しかし、社会実装までの道のりは長く、一人で成し遂げられるものではありません。本プログラムは、その可能性を社会へと接続する半年間です。研究Visionの言語化から始まり、クラウドファンディングを通じた仲間集めや資金獲得に挑戦。多分野の専門家や企業との対話を通じて、研究を次の産業の起点へと導きます。

#### 応募受付期間

2026年9月15日（火）～2026年11月5日（木）23時59分

#### 応募条件

1. 研究のVisionとVision達成までの道筋が描けていること
2. 基礎研究の可能性を広げ、新たな価値を生むことに関心があり、DeepTech領域の研究を進めていること
3. 大学・研究機関に所属する博士号取得者からの推薦が2件あること
4. クラウドファンディングにチャレンジし、関連イベントに参加できること
5. 応募時点で下のいずれかに該当すること
  - ・45歳以下
  - ・博士号取得後5年以内
  - ・大学院（修士課程または博士課程）所属

#### 対象分野

基礎研究から新たな価値創造を目指すすべての研究領域

#### 募集人数

10名（チームでの応募も可能です。）

#### 特典

1. 研究活動資金（総額1,000万円）の授与権
2. 研究Vision実現に向けたメンタリング・ネットワーキング支援
3. academist Prize 特別イベント参加権（全3回）

## • academist Prize の特徴 •



## Quadratic Fundingの賞金

クラウドファンディングの  
支援額と支援者数 に応じて 賞金 を分配



+

## 企業賞の賞金

スポンサー企業が  
それぞれ企業賞として 賞金 を分配



### Quadratic Funding

チャレンジャーは、「academist Prize 第6期」のマッチングプールから賞金を受け取ることができます。賞金の金額は、クラウドファンディングで集めた支援総額と支援者数に応じて算出されるQuadratic Funding（青色部分）という仕組みと、企業賞（赤色部分）によって決まります。チャレンジャーは、クラウドファンディングで集めた研究費（白色部分）と、マッチングプールから得た賞金を合わせて、研究活動に自由に活用することができます。



#### 定例イベントでネットワーク構築

年3-4回のハイブリッドイベントを通じて、研究に関心を持つステークホルダーとネットワークを構築できます。



#### Vision実現に向けたメンタリング支援

それぞれの状況に応じて、Vision実現に向けた専門家の紹介やメンタリング支援を行います。

### タイムライン

研究Visionの言語化や発信方法の設計からクラウドファンディング達成までの伴走、研究をともに推進する仲間や協働パートナーとのネットワーキングを提供します。

#### 人文・社会科学編

2026年5月7日（木）  
研究者エントリー開始

● 今ここ

● 2026年6月16日（火）23時59分  
エントリー受付締切

● 2026年6月17日（水）

#### DeepTech編

● 2026年9月15日（火）  
研究者エントリー開始

● 2026年11月5日（木）23時59分  
エントリー受付締切

● 2026年11月6日（金）  
1次審査結果通知

×

## 1次審査結果通知

- 2026年6月22日（月）～6月25日（木）  
2次審査（30分のオンライン面談）
- 2026年6月26日（金）  
採択者発表
- 2026年7月  
クラウドファンディング準備  
（研究Visionの言語化）
- 2026年8月7日（金）18:00  
6期生顔合わせミーティング
- 2026年8月  
クラウドファンディング準備  
（宣伝・発信戦略の立案）
- 2026年9月1日（火）  
クラウドファンディング開始・  
キックオフピッチイベント
- 2026年10月29日（木）17:00  
クラウドファンディング終了
- 2026年11月27日（金）  
ネットワーキングイベント
- 2026年12月17日（木）  
academist Prize 第6期  
人文・社会科学編 FINALイベント

- 2026年11月9日（月）～11月12日（木）  
2次審査（30分のオンライン面談）
- 2026年11月13日（金）  
採択者発表
- 2026年11月27日（金）  
ネットワーキングイベント
- 2026年11月下旬～12月  
クラウドファンディング準備  
（研究Visionの言語化）
- 2027年1月8日（金）18:00  
6期生顔合わせミーティング
- 2027年1月  
クラウドファンディング準備  
（宣伝・発信戦略の立案）
- 2027年2月2日（火）  
クラウドファンディング開始・  
キックオフピッチイベント
- 2027年3月25日（木）17:00  
クラウドファンディング終了
- 2027年6月24日（木）  
academist Prize 第6期  
DeepTech 編 FINALイベント

## ● 提出物と審査方法 ●

## 提出物



エントリーシート (A4サイズ1枚)

下記1～4を1枚にまとめてください。

- 1 あなたが研究を通して成し遂げたいこと（究極的な目標、実現したい世界観などご自身のビジョン）はなんですか。
- 2 1をどのようなアプローチで実現しようとしていますか。
- 3 現在取り組んでいる研究課題はなんですか。Vision 実現のボトルネックがあれば教えてください。
- 4 academist Prize 第6期に応募を決めた理由を教えてください。

## 1次審査 エントリーシートによる選抜

エントリー内容が応募条件を満たしているか、またエントリーシートの内容がクリアに記載されているかを確認します。専門外の方々にも互  
 わる形で、あなたの研究のVisionを示してください! 

2次審査 面談による選抜

エントリー内容をもとに academist スタッフとのディスカッションを行い、academist Prize for DeepTechの趣旨との相性がどの程度良いかを双方で確認します。

オンライン説明会

academist Prize 第6期 に関心のある方々へ向けて、下記の要領でオンライン説明会を行います。  
ぜひお気軽にご参加ください！※ いずれもGoogle Meetで開催

人文・社会科学編

DeepTech編

第1回 2026年  
5月14日 (木) 12:00～

第2回 2026年  
5月20日 (水) 18:00～

第3回 2026年  
5月26日 (火) 12:00～

第4回 2026年  
6月4日 (木) 18:00～

準備中

参加申し込み ● 受付中

参加申し込み 準備中



### • よくあるご質問 •

- Q クラウドファンディング（CF）の実施は必須でしょうか？ +
- Q クラウドファンディングの経験がないので不安です。 +
- Q 博士号取得者からの推薦2件はどのように示せばよいでしょうか。エントリーシートに記載する必要はありますか？ +
- Q 企業研究員・研究支援者・独立研究者・大学生でも応募できますか？ +
- Q チームでの応募も可能でしょうか。 +
- Q イベントへの参加は必須でしょうか？ +

### • Vision Sharing Partner •

「academist Prize 第6期 - 基礎研究で、世界を変える。」は、本プログラムのVisionに賛同する企業・大学とともに推進しています。Vision Sharing Partner（VSP）は、本プログラムのVisionに共感し、研究者とともに「新たな価値」を生み出すパートナーです。VSPは資金提供に限らず、ノウハウやネットワークなどを提供することで、長期的に持続可能な成長を目指します。

Platinum VSP

Gold VSP



Individual VSP

石原 裕

### • お問い合わせ •

コンテストに関するお問い合わせ

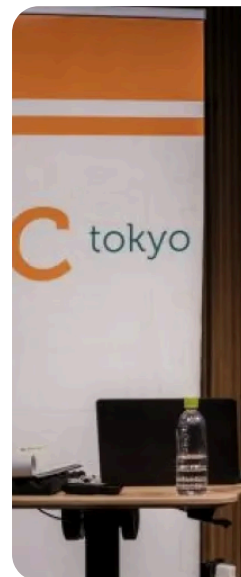
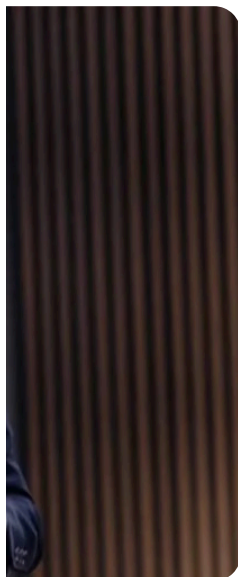


協賛をご検討中の企業様

問い合わせ事務局：academist Prize 運営事務局

MAIL：info@academist.jp

• academist Prize の様子 •



• 参加者の声 •



academist Prize 第3期「AI×〇〇学で未来をつくる」に「AI×材料科学」として参加しました。この一年間、どうすれば研究者として応援してもらえるのか、自分の研究の魅力をどのように伝えるべきかを真剣に考える貴重な機会となりました。発表や活動報告を通じて、わかりやすく、かつ関心を引く見せ方や文章構成について試行錯誤を重ねた経験は、現在の研究生活にも大いに活かしています。academist Prizeを通じて、「誰かに伝わる研究」の大切さを学び、研究の価値を共有できるファンの存在がどれほど研究者の励みになるかを実感しました。自分の研究に誇りを持ち、その価値を社会に伝える第一歩となるはず。研究の可能性を広げたい方にこそ、ぜひ挑戦していただきたいです！！

早稲田大学、一貫制博士課程4年（博士2年）（当時）  
石崎 一輝



材料科学における簡易的な自律的実験遂行システムの確立



academist Prizeに参加して感じたのは、研究の価値は「正しさ」だけでなく、「誰かの日常の選択を変える力」にもなるということでした。私自身、腸内細菌の知見をもとに「おいしさと健康を両立する食」を社会に届けたいというテーマで取り組みましたが、クラウドファンディングを通じて生活者の声に触れ、自分の研究を生活の文脈に翻訳する経験が、大きな転換点になりました。特に、自分の研究が社会とどうつながるかのイメージがある方には、このプログラムは非常におすすめです。クラファンという仕組みを通じて、研究の価値を実際に届け、反応を得ることで、研究の方向性や広がり一段とクリアになります。研究を一步外に出し、社会との接点を具体化したい方に、ぜひ挑戦してほしいです。

東京科学大学、博士後期課程3年  
千葉のどか



すべての人が食で体調をコントロールできる社会をつくる！



academist Prizeでは、自分の研究が「誰のために、なぜ必要か」を問い直す貴重な機会になります。研究成果を論文にするだけでなく、社会に届けることの重要性に向き合う経験は、大きな学びになります。この経験は、研究に対する姿勢の深化にも確実につながります。研究者としての可能性を広げたい方には、ぜひ挑戦してほしいプログラムです。

帝京科学大学、准教授  
山田 秀俊



三陸のイサダで、健康寿命100年社会をつくりたい





[academist Prize総合サイト](#)

[歴代プロジェクト](#)

[歴代パートナー](#)

**ナンバーシリーズ**

[academist Prize 第5期](#)

[academist Prize 第4期](#)

[academist Prize 第3期](#)

[academist Prize 第2期](#)

[academist Prize 第1期](#)

**特別シリーズ**

[academist Prize for DeepTech](#)

**研究者の方**

[メルマガ登録](#)

**企業の方**

[メルマガ登録](#)

[プライバシーポリシー](#)

[運営会社](#)

